

津別単板協同組合

バイオマスエネルギーセンター

丸玉産業(株)

羽北国道

240

240

A

高台

240

津別単板協同組合の概要

- 1 設立 平成11年
- 2 工場 第一工場(H12～、カラマツが主)
第二工場(H19～、トドマツが主)
バイオマス・センター(H19～)
- 3 従業員 119名
- 4 製品 合板用単板(18万6千m³)
- 5 原木 北海道産カラマツ、トドマツ(30万m³)
- 6 敷地 28.3ha、建屋 4.3ha

津別単板協同組合の構成員

- 丸玉産業(株)
 - 北海道森林組合連合会
 - 阿寒木材(株)
 - 国安産業(株)
 - 佐藤林業(株)
 - (有)長良木材店
- 6社

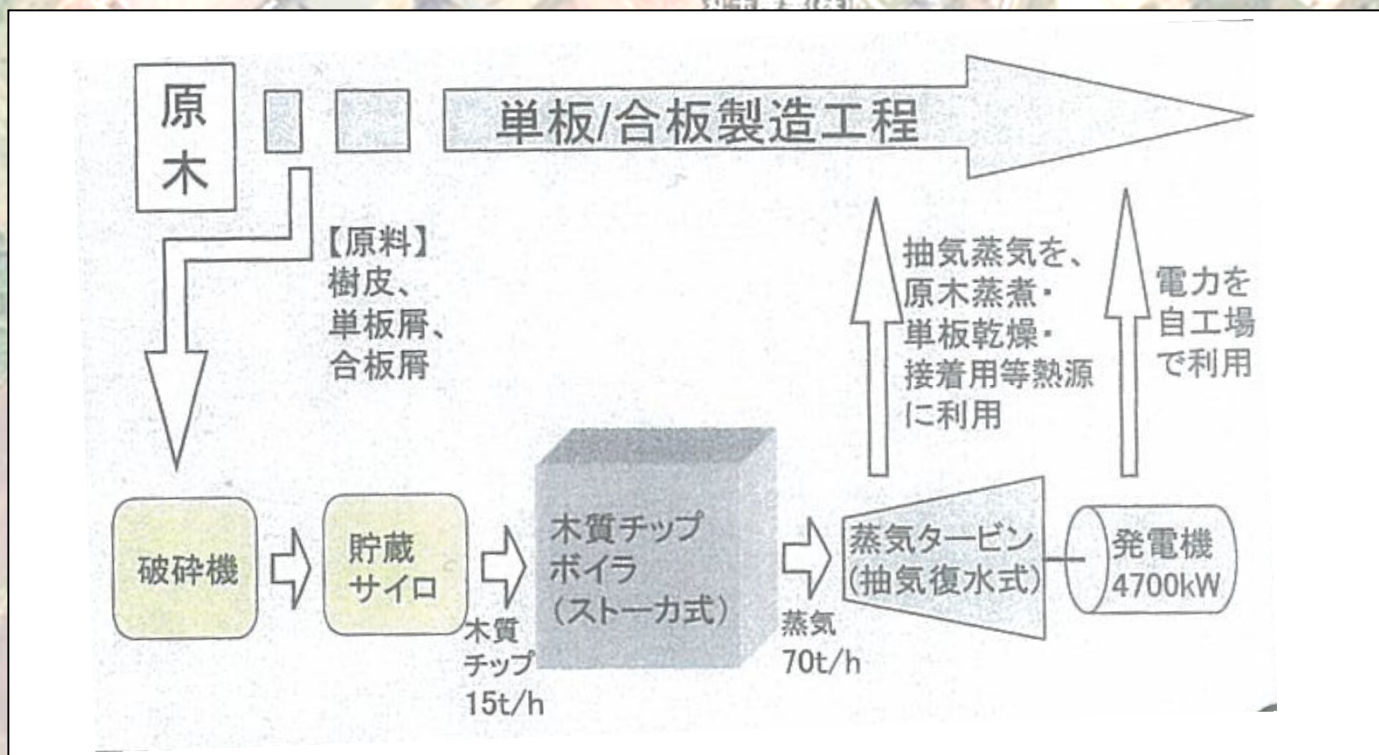


丸玉産業(株)津別工場の概要

- 1 創業 明治35年
- 2 事務所 津別、茨城、舞鶴
(津別)病院、給油所、整備工場
- 3 従業員 150名(津別)
- 4 製品 構造用合板、フロア台板、造作部材、
下地材、LVL(18万m³)

バイオマスエネルギーセンターの概要

- 1 工場から出る木くずを燃料とし、工場で使用
する熱(9割)・電気(1割)のほぼ全量を供給
- 2 バイオマスコージェネレーション設備の概要



バイオマスエネルギーセンターの概要

- 3 450℃の蒸気を利用
- 4 自主点検2年に一度（法律：4年に一度）
- 5 土日休み。3交代制のため土曜の朝、火を落とす。



バイオマスエネルギーセンターの概要

- 6 灰2%。8～9t／年。産廃としている。
- 7 水:900t／日 工業用水
- 8 樹皮は砂・石がつくため、バーカーで向いた皮をふるいにかけて、細かいものを農業用、粗いものの燃焼用としている。



材の供給体制

- 集材範囲 100から150km以内
- 北海道全体の搬出量300万m³の1割を活用
- 道森連13万m³、国有林1万m³
- 材が不足する場合、6社で融通（商社、製紙会社等）
- 市場がなく、山からの材の直送
- 1,200m³／日、トラック40から50台／日
- 山土場に直接はいるため、中型トラック（約10t）
- 3ヶ月単位で契約



今後の見通し

- カラマツ(8):トドマツ(2)→5:5 トドマツが伐期に入るため
- ラワンは最盛期で、60万m³。現在30万m³。今後増えることはないなので、この需用を取り返す。
- 余剰電力は、高圧線がないため売電不可